

日本医療マネジメント学会

第24回 熊本支部学術集会

プログラム・抄録集

会期 2022年3月12日(土)

会場 WEB開催

学術集会
会長 平田 稔彦
熊本赤十字病院 院長

With/post コロナ時代を見据えた DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進





日本医療マネジメント学会

第24回 熊本支部学術集会

プログラム・抄録集

With/post コロナ時代を見据えた DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

会期 2022年3月12日(土)

会場 WEB開催

学術集会
会長 平田 稔彦 熊本赤十字病院 院長

学術集会
事務局

熊本赤十字病院 担当：総務課
〒861-8520 熊本市東区長嶺南2-1-1
TEL: 096-384-2111 FAX: 096-384-3939
E-mail: syomu@kumamoto-med.jrc.or.jp

学術集会
運営事務局

学会サポートセンター熊本(株式会社コンベンションサポート九州)
〒862-0976 熊本市中央区九品寺1丁目5-3 熊本第2ビル101号
TEL: 096-373-9188 FAX: 096-373-9191
E-mail: jhm24kumamoto@higo.co.jp

目 次

学術集会会長挨拶	1
参加者の皆様へ	2
日本医療マネジメント学会熊本支部 学術集会 開催地	4
日 程 表	5
プログラム	6
抄 録	
特別講演	16
シンポジウム	20
共催セミナー	34
一般演題	38
日本医療マネジメント学会の 入会案内と入会手続き	60
第24回日本医療マネジメント学会 学術総会のご案内	66
協賛一覧	67

日本医療マネジメント学会 第24回熊本支部学術集会の開催にあたって



日本医療マネジメント学会
第24回熊本支部学術集会

学術集會会長 平田 稔彦 熊本赤十字病院 院長

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、2022年3月12日(土)に開催されます日本医療マネジメント学会第24回熊本支部学術集会の開催を担当させていただくことになりました。今回で24回目の開催となる当学術集会ですが、猛威を振るう昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、その開催形式は大きく様変わりしてきております。

一昨年の第22回の開催は感染拡大のあおりを受け、残念ながら中止となりましたが、くまもと森都総合病院 藤山重俊先生のご尽力により、抄録集の編纂・配布が行われました。そして昨年の第23回は、阿蘇医療センター 甲斐豊先生のご尽力のもと、初の完全 Web による学術集会開催となり、コロナ禍における新たな学会の在り方について、我々も多くの知見を得ることができました。

現在我々の生活を脅かしている新型コロナの感染拡大は、これまで提唱されてきた業務効率化および安全性・ペーパーレス等の視点に加え、社会における「デジタル化」をより加速させる大きな要因となっています。

医療業界においても、コロナの終息が見通せないなか、コロナ禍における持続可能な医療提供体制を維持し、ニューノーマルな社会に適応していくうえで、「デジタル化」の推進は極めて重要となっております。

こうした現況を踏まえ、コロナ禍における新たな課題の解決・対処に資していただくため、今回のテーマは「With/post コロナを見据えたDX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進」といたしました。各施設におけるDXを活用した戦略策定および取り組み事例等を通して、「With コロナ」「Post コロナ」時代の新たな医療について、皆様と知見を深めていきたいと思っています。

開催形式は昨年同様完全 Web 配信とし、特別講演及びシンポジウム講演の内容は、医療のデジタル化の流れとこれからの病院経営の将来像、医療におけるデジタルの活用事例等にフォーカスし、今後の時代を見据えた医療を考えるうえで有用な話題を提供いただけるものと思います。

両講演ともにオンデマンド方式により一定期間は閲覧可能な設定とし、一般演題については Web 配信のみによる共有といたしますが、一部は Web 上での発表を行っていただく予定としております。

なお、今回のテーマに沿い、抄録集については紙媒体での配布は行わないこととし、オンライン上にて各自でダウンロードいただく形式としたいと考えております。趣旨をご理解のうえ、何卒ご容赦を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝、ご発展を祈念申し上げます。

2021年10月

参加者の皆様へ

■ WEB 開催のご案内

1) WEB 配信内容

1. LIVE 配信 (プログラム開催時1回のみ配信)
3月12日(土) 会長講演・特別講演・シンポジウム・共催セミナー・一般演題
※配信ソフトは Zoom を利用いたします。
※講演時間は日程表をご確認ください。
2. オンデマンド配信 (期間中 HP にて視聴可能)
各講演の収録動画
3. 一般演題スライド PDF 期間中 HP にて公開
※参加者のみ閲覧可能 (WEB 配信の閲覧方法のご案内とともにパスワードをご連絡
します。)

2) オンデマンド配信期間

2022年3月14日(月)～31日(木)

3) 参加方法

事前の参加登録が必要です。
参加登録を完了された方に閲覧用 ID とパスワードを配布いたします。

4) お問い合わせ先

日本医療マネジメント学会 第24回熊本支部学術集会 運営事務局
学会サポートセンター熊本 (株式会社コンベンションサポート九州)
〒862-0976 熊本市中央区九品寺1丁目5-3 熊本第2ビル101号
TEL: 096-373-9188 FAX: 096-373-9191
E-mail: jhm24kumamoto@higo.co.jp

■ 参加登録について

1) 参加費

学会会員	学会非会員
1,000円	3,000円

※ご入金後の取消しならびに払い戻しは出来ませんので予めご了承ください。

2) 参加登録受付期間

参加登録を完了された方に閲覧用 ID とパスワードを配布致します。

2) 参加登録受付期間

参加登録を完了された方に閲覧用 ID とパスワードを配布致します。

参加登録受付期間

2021年12月24日(金)～2022年3月6日(日)

3) 閲覧用 ID・パスワード送付

1. 登録完了後、ご登録いただきましたメールアドレスに参加登録完了メールが届きます。
2. ご登録いただきましたメールアドレスに閲覧用 ID・パスワードを送付いたします。
(会期1週間前を目途にお送りする予定です)

4) 抄録集

抄録集は WEB 上にて PDF データを配信します。

※抄録集の冊子は作成しませんので予めご了承ください。

5) 参加証について

参加登録を完了された方には、参加証 兼 領収書の PDF をご登録のメールアドレスへ送信いたします。

6) 一般演題発表者について

学術集会参加登録が必須となりますので、必ず参加登録をお願いいたします。

日本医療マネジメント学会熊本支部学術集会 開催地

	日 時	担当施設	会 場	テ ー マ
第1回	H12.11.25	国立熊本病院	ニュースカイホテル	クリティカルパス導入とアウトカムマネジメント
第2回	H13.4.7	国立熊本病院	ニュースカイホテル	クリティカルパスをめぐる今後の検討
第3回	H13.11.17	国立熊本病院	ニュースカイホテル	クリティカルパス導入とその後の展開 ～問題点の克服～
第4回	H14.4.20	熊本赤十字病院	熊本県立大学	パス導入時の問題点 導入後の問題点
第5回	H15.3.15	NTT 西日本九州病院	メルパルク熊本	クリティカルパス導入及び運用後の問題点 医療安全管理への取り組みについて
第6回	H16.3.13	西日本病院	熊本県立大学	クリティカルパスの更なる普及
第7回	H17.3.12	熊本大学医学部附属病院	熊本学園大学	今、医療マネジメントに何が必要か!?
第8回	H18.3.11	青磁野リハビリテーション病院	熊本学園大学	患者視点の地域完結型医療連携を探る
第9回	H19.3.10	熊本地域医療センター	熊本学園大学	患者の視点から地域医療連携を見直す
第10回	H20.3.8	熊本整形外科病院	熊本学園大学	《患者中心の医療を目指して》 医療安全の向上 連携医療の質の向上
第11回	H21.3.14	健康保険 人吉総合病院	人吉カルチャーパレス	未来につなげる地域創造型医療マネジメント ～病院地域の特性を活かして～
第12回	H22.3.6	国立病院機構 熊本南病院	熊本学園大学	医療安全と質の高い医療を求めて
第13回	H23.3.12	朝日野総合病院	熊本学園大学	患者中心の医療安全と地域連携
第14回	H24.3.10	国保水俣市立総合医療センター	水俣市総合もやい直し センター「もやい館」	地域医療の現状と展望 ～チーム医療で質の向上を目指す～
第15回	H25.3.9	青磁野リハビリテーション病院	くまもと森都心	プラザ患者と共に考える地域医療の推進
第16回	H26.3.8	健康保険 熊本総合病院	熊本総合病院・ セレクトロイヤル八代	ひとりひとりを大事にする地域包括ケアシステム
第17回	H27.3.14	荒尾市民病院	荒尾総合文化センター	地域完結型の医療マネジメントがめざすところ
第18回	H28.3.5	玉名地域保健医療センター	九州看護福祉大学	現代型のコミュニティとしての 地域包括ケアシステムがめざすもの
第19回	H29.3.18	熊本機能病院	くまもと県民交流館 パレア	新しいチーム医療 全ての答えは現場に
第20回	H30.3.17	天草地域医療センター	天草市民センター	地域でささえる医療と介護
第21回	H31.3.16	平成とうや病院	くまもと県民交流館 パレア	地域そして職場での連携と協働
第22回	R2.3.7	くまもと森都総合病院	熊本城ホール	「令和」新たな時代を見据えた医療マネジメントの方向性 ～働き方改革とチーム医療～
第23回	R3.3.13	阿蘇医療センター	Web 開催	with コロナ時代の医療マネジメント
第24回	R4.3.12	熊本赤十字病院	Web 開催	With/post コロナ時代を見据えた DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

日 程 表

Live配信会場（熊本城ホール）

8:30	8:50~9:00	開 会 式	大会長挨拶 平田 稔彦 熊本赤十字病院 院長 支部長挨拶 片瀬 茂 朝日野総合病院 院長補佐
9:00	9:00~10:00	一 般 演 題 I	座長：甲斐 豊 阿蘇医療センター 院長 [教育] O-14 館山 弘士朗 熊本赤十字病院 [患者サービス] O-20 比嘉 希 一般社団法人菊池郡市医師会 菊池郡市医師会立病院 O-19 渡口 菜々子 菊池郡市医師会立病院 [看護業務] O-26 寺本 美千代 社会医療法人寿量会 熊本機能病院 看護部 外来 O-28 那須 照広 特定医療法人谷田会 谷田病院 [新型コロナ感染症関連] O-36 那須 照広 特定医療法人谷田会 谷田病院
10:00	10:05~10:50	会 長 講 演	熊本赤十字病院におけるDXの推進と展望 平田 稔彦 熊本赤十字病院 院長
11:00	10:55~11:55	一 般 演 題 II	座長：吉仲 一郎 天草地域医療センター 院長 [クリティカルパス] O-01 満汐 裕子 社会医療法人寿量会 熊本機能病院 看護部 O-02 山下 寛知 国立病院機構 熊本医療センター [病院運営] O-18 大嶋 悠一 くまもと森都総合病院 [患者サービス] O-21 中村 律子 独立行政法人国立病院機構 熊本南病院 [看護業務] O-30 本田 照美 医療法人清和会 水前寺とうや病院 [新型コロナ感染症関連] O-38 竹下 美子 熊本赤十字病院
12:00	12:00~13:00	共催セミナー	医療 IT 導入による医師の働き方改革 小西 竜太 エム・シー・ヘルスケア株式会社 CMO（チーフメディカルオフィサー）（兼）事業本部長補佐（事業開発担当） 座長：竹熊 与志 熊本赤十字病院 副院長 共催：エム・シー・ヘルスケア株式会社
13:00	13:05~14:05	特 別 講 演	2040年に向けた病院医療経営の将来像 〈医療のデジタル化を中心とした流れと方向性〉 加藤 浩晃 デジタルハリウッド大学大学院 客員教授、アイリス株式会社 共同創業・取締役副社長 CSO 座長：平田 稔彦 熊本赤十字病院 院長
14:00	14:10~16:10	シンポジウム	医療施設における新技術の親和性 座長：宮田 昭 熊本赤十字病院 副院長 基調講演 医療技術者のヒントになる現場での情報利活用 横田 勝彦 東京電機大学 研究推進社会連携センター・知能協創発研究センター 災害救急医療情報学グループ 研究コーディネーター 兵庫医科大学病院 脳神経外科講座 災害救急医学講座 特別招聘教授 [医療現場の問題解決に向けた新技術開発の取り組み] シンポジスト：曾篠 恭裕 熊本赤十字病院 国際医療救援部 救援課長 品川 知広 トヨタ自動車トヨタ ZEV ファクトリー 商用 ZEV 基盤開発部 ZEV アプリケーション開発グループ グループ長 [新技術の利活用に向けた地域医療連携の構築事例] シンポジスト：長谷川 秀 熊本赤十字病院 脳神経・外傷外科部長 米盛 輝武 社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター センター長
16:00	16:10~	閉 会 式	次回会長挨拶 高田 明 熊本市民病院 院長

プログラム

会長講演 10:05～10:50

Live 配信

熊本赤十字病院におけるDXの推進と展望

平田 稔彦 熊本赤十字病院 院長

特別講演 13:05～14:05

Live 配信

座長：平田 稔彦（熊本赤十字病院 院長）

2040年に向けた病院医療経営の将来像 〈医療のデジタル化を中心とした流れと方向性〉

加藤 浩晃 デジタルハリウッド大学大学院 客員教授、
アイリス株式会社 共同創業・取締役副社長 CSO

共催セミナー 12:00～13:00

Live 配信

座長：竹熊 与志（熊本赤十字病院 副院長）

医療IT導入による医師の働き方改革

小西 竜太 エム・シー・ヘルスケア株式会社 CMO（チーフメディカルオフィサー）
（兼）事業本部長補佐（事業開発担当）

共催：エム・シー・ヘルスケア株式会社

〔医療施設における新技術の親和性〕

基調講演

医療技術者のヒントになる現場での情報利活用

横田 勝彦 東京電機大学 研究推進社会連携センター・知能協創発研究センター
災害救急医療情報学グループ 研究コーディネーター
兵庫医科大学病院 脳神経外科講座 災害救急医学講座 特別招聘教授

〔医療現場の問題解決に向けた新技術開発の取り組み〕

S1-1 熊本赤十字病院のイノベーションモデル
～国際医療救援を通じた革新的技術の創出とリバース・イノベーション～

○曾篠 恭裕
熊本赤十字病院 国際医療救援部 救援課長

S1-2 カーボンニュートラルに向けた技術開発と医療分野への応用

○品川 知広
トヨタ自動車商用 ZEV 基盤開発部プロジェクト推進グループ長

〔新技術の利活用に向けた地域医療連携の構築事例〕

S2-1 病院前脳卒中病型予測ツールを活用して、
適切な病院へ迅速に搬送する取り組みの構築を行う前の検証

○長谷川 秀¹⁾、甲斐 豊²⁾、岡野 雄一³⁾、吉村 紳一⁴⁾、内田 和孝⁴⁾、横田 勝彦⁴⁾
1)熊本赤十字病院 脳神経外科、2)阿蘇医療センター 脳神経外科、3)熊本赤十字病院 救急科、
4)兵庫医科大学 脳神経外科

S2-2 ICT を活用した地域医療システム整備
～離島における急性期脳梗塞患者に対し
Drip Ship and Retrieve を実施した症例を通して～

○米盛 輝武¹⁾、儀間 辰二²⁾、伊良波 美里²⁾、中村 祐太²⁾、崎浜 秀²⁾、都丸 和佳乃²⁾、
比嘉 智将²⁾
1)社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター
2)社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 災害救急情報管理室

座長：甲斐 豊 (阿蘇医療センター 院長)

[教育]

O-14 YouTube 等を用いた研修の有用性

○館山 弘士朗、田頭 由美子、久木田 志保、木村 亜里沙、小島 真衣、村田 静哉
熊本赤十字病院

[患者サービス]

O-20 コロナ禍における、タブレットを用いたリモート形式での糖尿病教室への取り組み

○比嘉 希
一般社団法人菊池郡市医師会 菊池郡市医師会立病院

O-19 オンライン面会導入後のスタッフアンケート調査について

○渡口 菜々子、黒田 知子、豊永 哲也
菊池郡市医師会立病院

[看護業務]

O-26 入院オリエンテーションに ICT 技術「ポケさぼ」導入の効果を検証

○寺本 美千代
社会医療法人寿量会 熊本機能病院 看護部 外来

O-28 Google/OR-tools による病棟勤務計画の立案 DX GORDIAN
～針の穴を穿つナーススケジュール問題の最適解～

○那須 照広
特定医療法人谷田会 谷田病院

[新型コロナ感染症関連]

O-36 職員の健康状態マネジメント DX ACCENT
～ Google Forms の弱点を GAS で解消し、堅牢な“接触”の確立～

○那須 照広
特定医療法人谷田会 谷田病院

座長：吉仲 一郎(天草地域医療センター 院長)

[クリティカルパス]

O-01 COVID-19 看護パスの作成と運用

○満汐 裕子

社会医療法人寿量会 熊本機能病院 看護部

O-02 化膿性脊椎炎パス作成に向けた取り組み

○山下 寛知

国立病院機構 熊本医療センター

[病院運営]

O-18 新型コロナウイルスによる外来受診抑制が与えた診療への影響
～外来診療単価区分別分類の考察～

○大嶋 悠一、和泉 孝、橋本 和幸

くまもと森都総合病院

[患者サービス]

O-21 コロナ禍における緩和ケア病棟のありかた～面会制限の中から見えてきたこと

○中村 律子

独立行政法人国立病院機構 熊本南病院

[看護業務]

O-30 リリーフ体制の構築について

○本田 照美

医療法人清和会 水前寺とうや病院

[新型コロナ感染症関連]

O-38 コロナ病棟開設に伴う外科病棟閉鎖時の患者ケア継続に向けた取り組み

○竹下 美子、上村 幸子、出島 めぐみ

熊本赤十字病院

一般演題プログラム

[クリティカルパス]

Live 配信②

O-01 COVID-19 看護パスの作成と運用

○満汐 裕子

社会医療法人寿量会 熊本機能病院 看護部

Live 配信②

O-02 化膿性脊椎炎パス作成に向けた取り組み

○山下 寛知

国立病院機構 熊本医療センター

O-03 熊本赤十字病院脳神経内科のクリティカルパスの適用率の変遷

○寺崎 修司

熊本赤十字病院 脳神経内科

O-04 広汎性子宮全摘術パス改訂～改訂パスを2事例活用して～

○米澤 奈織美

独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター

O-05 歯科口腔外科手術の軟組織クリティカルパスのバリエーション評価

○川上 千聡、大塚 美里

国立病院機構 熊本医療センター

[医療安全]

O-06 リハビリ患者満足度アンケートの取り組みについて

○三穂野 大樹

社会医療法人 熊本機能病院 総合リハビリテーション部 作業療法課

O-07 看護部の医療安全学習文化の現状把握と今後の課題

—「インシデントから学ぶ組織学習を支える態度・行動尺度」を用いて—

○鉄田 靖子、原田 貴子、野中 須奈子

医療法人朝日野会 朝日野総合病院

O-42 転倒転落対策に対する取り組み

○山本 茉莉奈、嶋田 紫織、橋本 直紀、高野 さおり

熊本労災病院 看護部

[地域連携]

O-08 当院が関わった地域サロン活動における
運動プログラムの結果と今後の課題について

○松本 侑佳、藤本 龍二
医療法人博光会 御幸病院

O-09 判断能力に課題を有する患者の社会復帰支援の一考察

○谷村 有起乃
医療法人桜十字 桜十字病院

[医療の質]

O-10 個別の実績指数予測数値を取り入れた除外患者検討の取り組み

○竹内 陸雄
社会医療法人寿量会 熊本機能病院 総合リハビリテーション部

O-11 回復期リハビリテーション病棟の効果的なレクリエーションの実践
～ ICF の活用～

○濱浦 朝美
社会医療法人稻穂会 天草慈恵病院

O-12 低栄養状態の兆しを見落とさないプッシュ型 NST 介入 DX SOMATIC

○那須 照広
特定医療法人谷田会 谷田病院

O-13 PMDA から添付文書を自動取得・形態素解析し、
経過記録にある副作用発現を自動検知する DX PANDECT

○那須 照広
特定医療法人谷田会 谷田病院

[教育]

Live 配信①

O-14 YouTube 等を用いた研修の有用性

○館山 弘士朗、田頭 由美子、久木田 志保、木村 亜里沙、小島 真衣、村田 静哉
熊本赤十字病院

O-15 Unchangeable (不変)
～私たちのクオリティは変わらないさらに先へ～

○中野 航汰、寺本 伊織、石藏 宏典、伊藤 龍馬、小林 賢吾、澤邊 英孝、寺住 恵子、
堀 耕太、宮城 昇、吉中 香澄、奥本 克己
熊本赤十字病院

O-16 若手看護師が体幹抑制帯の装着を習得する為の体験型学習の実践

○堀田 倫代

熊本赤十字病院 集中治療病棟

O-17 認定看護師が介入するスタッフ育成の一考察

～ポジティブ感情の拡張－形成理論を活用した指導を取り入れて～

○川部 真稚子

国立病院機構 熊本南病院

[病院運営]

Live 配信②

O-18 新型コロナウイルスによる外来受診抑制が与えた診療への影響

～外来診療単価区分別分類の考察～

○大嶋 悠一、和泉 孝、橋本 和幸

くまもと森都総合病院

[患者サービス]

Live 配信①

O-19 オンライン面会導入後のスタッフアンケート調査について

○渡口 菜々子、黒田 知子、豊永 哲也

菊池郡市医師会立病院

Live 配信①

O-20 コロナ禍における、タブレットを用いたリモート形式での糖尿病教室への取り組み

○比嘉 希

一般社団法人菊池郡市医師会 菊池郡市医師会立病院

Live 配信②

O-21 コロナ禍における緩和ケア病棟のありかた～面会制限の中から見えてきたこと

○中村 律子

独立行政法人国立病院機構 熊本南病院

O-22 当院における自動車運転再開支援についての取り組みとデータ報告

○太田 夏菜恵

医療法人清和会 水前寺とうや病院

O-23 頸髄損傷患者の症例を通じたコロナ禍での退院支援を考える

○今村 文香、野村 一俊

医療法人朝日野会 朝日野総合病院

O-24 「徘徊する」と前医より情報があった認知症高齢患者の術前不安の理解と看護ケア

○栗原 由貴美

独立行政法人国立病院機構 熊本南病院

O-25 認知症患者へストーマセルフケア指導を行って
～認知症患者へのストーマ造設に伴うセルフケア指導の一考察～

○林田 理恵
独立行政法人国立病院機構 熊本南病院

[看護業務]

Live 配信①

O-26 入院オリエンテーションに ICT 技術「ポケさぽ」導入の効果を検証

○寺本 美千代
社会医療法人寿量会 熊本機能病院 看護部 外来

O-27 こども外来看護記録テンプレートへの変更の効果と課題

○永江 麻未、島津 千秋
熊本赤十字病院

Live 配信①

O-28 Google/OR-tools による病棟勤務計画の立案 DX GORDIAN
～針の穴を穿つナーススケジュール問題の最適解～

○那須 照広
特定医療法人谷田会 谷田病院

O-29 シェント外来看護師の負担軽減に向けた取り組み
～外来タイムスケジュールの可視化～

○春山 あゆみ
熊本赤十字病院

Live 配信②

O-30 リリース体制の構築について

○本田 照美
医療法人清和会 水前寺とうや病院

O-31 手術センター外回り看護師の業務開始前残業時間削減に向けた業務改善

○長森 真規子
熊本赤十字病院

O-32 粘着性製品によるスキントラブルに関する手術室看護師の意識調査
～看護師の意識向上を目指す～

○高瀬 仁菜、平山 美紀
社会医療法人寿量会 熊本機能病院

O-33 1, 2 年目看護師が患者の身だしなみに関心を寄せるための取り組み

○新堀 千春
熊本赤十字病院

[介護業務]

O-34 利用者の意向と改善で感じた事

○平野 和美

社会医療法人稲穂会 ヘルパーステーション JCS24

O-35 介護医療院における TQM への取り組み排泄支援について

○濱崎 愛

社会医療法人稲穂会 天草慈恵病院介護医療院

[新型コロナ感染症関連]

Live 配信①

O-36 職員の健康状態マネジメント DX ACCENT

～ Google Forms の弱点を GAS で解消し、堅牢な ” 接触 ” の確立～

○那須 照広

特定医療法人谷田会 谷田病院

O-37 新型コロナワクチン接種の現状と今後の課題

～会場運営に携わって～

○中牟田 祥友

社会医療法人寿量会 熊本機能病院

Live 配信②

O-38 コロナ病棟開設に伴う外科病棟閉鎖時の患者ケア継続に向けた取り組み

○竹下 美子、上村 幸子、出島 めぐみ

熊本赤十字病院

[その他]

O-39 RPA 導入検討に向けた業務自動化の検証

○徳嶋 真佐幸

熊本赤十字病院

O-40 『研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)』
(以下実施基準)改定に伴う当院医師へのアンケート調査

○富田 正郎

国立病院機構熊本医療センター

O-41 A 病院における産後ケア事業の実際と課題

○小田原 由香里、上村 絵美、志賀 陽子

熊本赤十字病院

講 演

2040年に向けた病院医療経営の将来像 〈医療のデジタル化を中心とした流れと方向性〉

加藤 浩晃

デジタルハリウッド大学大学院 客員教授
アイリス株式会社 共同創業・取締役副社長 CSO

日本は、高齢化、現役世代の減少、社会保障費の増大などの課題を抱えています。2030年、2040年に向けて、マンパワーの確保や業務負担の見直し、生産性の向上とともにテクノロジーの最大活用が求められています。また今、社会では「第4次産業革命」が進んでいます。人工知能(AI)やIoT(Internet of Things)などのテクノロジーにより、産業構造だけでなく、生活や人とのかかわり方まで含めて根本的に変わる大改革とされており、社会は歴史的な転換点を迎えています。これは2020年からの新型コロナウイルス感染によってさらに加速されました。

この第4次産業革命に関連したテクノロジーが医療現場でも活用されるようになる医療DX時代の日本の医療を「医療4.0」と呼び、この「医療4.0」時代に向けて、多くの企業が医療の未来を築くべくオンライン診療やDTxなど精力的な取り組みを行っています。2021年は、2020年から流行した新型コロナウイルスとの共生の中でリモートや非接触が当たり前になりました。時限措置として始まった初診からのオンライン診療も恒久化されることとなり、デジタル医療への変化は着々と進んできています。

この大きな変革が定着しつつある日本において、どのように医療の未来が創られていくのだろうか。本講演では「医療ニューノーマル」を想像し、医療のデジタル化を中心とした2040年に向けた病院医療経営の将来像や方向性について話をしていく。



加藤 浩晃
(かとう ひろあき)

略 歴

- | | |
|-------|---|
| 2007年 | 浜松医科大学 医学部医学科 卒業 |
| 2009年 | 京都府立医科大学 眼科学教室 医員 |
| 2015年 | 京都大学 医学教育プログラム教員(兼任) |
| 2016年 | 厚生労働省医政局 研究開発振興課 治験推進室 室長補佐 |
| 2017年 | デジタルハリウッド大学大学院 客員教授(現任)
東北大学大学院 非常勤講師(現任)
アイリス株式会社 共同創業者/取締役副社長 CSO(現任) |
| 2018年 | 厚生労働省 医療ベンチャー支援(MEDISO)アドバイザー(現任) |
| 2019年 | 経済産業省 Healthcare Innovation Hub アドバイザー(現任)
千葉大学 メドテック・リンクセンター 客員准教授(現任)
東京医科歯科大学 臨床准教授(現任)
横浜市立大学医学部 非常勤講師(現任) |
| 2020年 | AMED 医工連携イノベーション事業 課題評価委員(現任) |
| 2021年 | 神戸大学大学院 非常勤講師(現任) |

一般演題

O-01

COVID-19看護パスの作成と運用

○満汐 裕子

社会医療法人寿量会 熊本機能病院 看護部

【はじめに】当院は2020年5月より新型コロナウイルス感染症(以下COVID-19)患者を受け入れている。病棟再編にあたり各部署の有志が集められた。新たなスタッフによる感染症に対する対応は混乱する可能性が高い。準備を行う中で、病棟の特性などにより異なっていた看護オーダーの設定や、症状観察項目、看護ケアの統一を図る必要があると考えた。また、病棟開設当初は協力医療機関として、退院に向けてのリハビリ目的での転院が対象者であった。そこで、COVID-19看護パス(以下看護パス)を介助度別に作成したので報告する。

【作成】病棟開設当初は協力医療機関としての役割であり、重症度別ではなく介助度別に看護パスを作成した。症状観察項目や看護ケアについては、医師や感染管理認定看護師、病棟スタッフにて検討し作成した。受け入れ患者の推移に伴い、自立・要介助を追加した。

【運用】転院元や保健所からの患者情報および日常生活に関するスコアを基に介助度を考慮し、パスを適用する。データを基に看護ケアの一部を改訂し運用している。また、今後は治療別パスと組み合わせて運用する予定である。

【考察】看護パスを使用する事により、症状観察項目の統一・看護ケアの標準化を図ることができ、看護オーダー設定時間の短縮、業務の効率化に繋がったと考えられる。また、業務の効率化により、職員の精神的な余裕を生み、感染防止に注力できたと考えられる。

O-02

化膿性脊椎炎パス作成に向けた取り組み

○山下 寛知

国立病院機構 熊本医療センター

【はじめに】当院では手術を必要とする化膿性脊椎炎の患者には、脊椎後方固定術パスを使用していた。しかし、後方固定術のパスを化膿性脊椎炎患者にも用いることが、パスの適応期間を長期化する一因になっていた。そこで、後方固定術との差別化を行い、在院日数の短縮、患者満足度の向上に繋げるため、新たに化膿性脊椎炎パスの作成を行った。

【結果・考察】作成においては脊椎感染(主病名)のDPC IIの期間である29日と、化膿性脊椎炎患者の平均在院日数27日を考慮し、適応期間を29日に設定した。適応期間は29日と長く、リハビリの達成期間などについて、医師・理学療法士と協働し、化膿性脊椎炎全症例のリハビリ進捗状況を比較し、安静度拡大、離床の指標を示した。また、14日目に感染のコントロールができるをC, Iとし、退院基準として退院日に感染のコントロールができる(CRP1以下)を設定した。

後方固定術パスが適正に使用されることにより、後方固定術パスで代用していた部分が適正に評価されバリエーションが減少することを期待する。また作成したパスを、患者へのオリエンテーションに用いることで、患者への指導内容も明確になり、患者満足度の向上に繋げることができると考える。

【今後の課題】バリエーション分析やアウトカム評価を計画的に実施し、各バリエーションの発生状況から更なる改訂を行い、多職種と協働し、パス内容の充実と在院日数の短縮を目指し、チーム医療の推進を図っていく。

日本医療マネジメント学会 第24回熊本支部学術集会

学術集会会長：平田 稔彦

事務局：〒861-8520 熊本市東区長嶺南2-1-1
熊本赤十字病院 担当：総務課
TEL：096-384-2111 FAX：096-384-3939
E-mail：syomu@kumamoto-med.jrc.or.jp

運営事務局：〒862-0976 熊本市中央区九品寺1-5-3 熊本第2ビル101号
学会サポートセンター熊本(株式会社コンベンションサポート九州)
TEL：096-373-9188 FAX：096-373-9191
E-mail：jhm24kumamoto@higo.co.jp

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025